

患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることはございません。

【研究課題名】 滋賀県立総合病院における植込み型心臓電気デバイスの治療成績に関する研究

1. 研究の意義・目的

近年、不整脈診療における植込み型心臓電気デバイスの発展は目覚ましいものがあります。徐脈に対するペースメーカーにおいては左脚エリアペーシングなど新規の植込み手技、また、その他にもリードレスペースメーカーの開発により、適応はさらに広がっています。また、致死性不整脈、心不全に対する植込み型除細動器や心臓再同期療法も有効なペーシング手法/治療などが模索されています。技術の進歩が著しい植込み型心臓電気デバイス治療において、治療手法の選択や手術成績、長期経過などはいまなお検討すべき課題となっています。当院における植込み型心臓電気デバイス植込み後の短期・中期・長期の経過をデバイスの種類毎に明らかにし、治療成績などを検討することにより、植込み型心臓電気デバイス治療の成績のさらなる向上を目指します。

2. 研究方法

カルテ記録や植込み型心臓電気デバイス植込みの手術記録などからデータを抽出して解析します。

3. 対象となる方

2000年1月1日から2026年6月30日の間に当院で植込み型心臓電気デバイス植込み術、およびジェネレータ交換術を受けた患者さん。

4. 利用する試料・情報

カルテ記録から読み取れる、術前患者背景(性別、年齢、身長、体重、血圧、既往歴、喫煙歴、家族歴など)、植込み型心臓電気デバイス植込むに至った疾患(洞不全症候群、房室ブロック、心不全、心室頻拍など)、内服薬、血液検査データ、心臓超音波検査、心電図、CT等)、植込み型心臓電気デバイスチェック記録、手術術式、術後経過等。

5. 研究期間

令和8年(研究実施許可後)～令和12年12月31日

6. 個人情報の取扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

7. 費用および謝金等

患者さんに負担いただく費用はありません。また、謝金也没有ありません。

8. お問い合わせ先

滋賀県立総合病院循環器内科 米田史哉

TEL:077-582-5031

郵便番号:524-8524

住所:守山市守山五丁目4-30